

# 令和7年度

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について



東大阪市花園ラグビー場



東大阪市教育委員会

# 目 次

I. 調査の概要	1 ページ
II. 調査結果	
実技調査(小学校 5 年生)	2 ページ
実技調査(中学校 2 年生)	3 ページ
実技調査の分析、考察	3 ページ
質問紙調査(小学校 5 年生)	4 ページ
質問紙調査(中学校 2 年生)	5 ページ
質問調査の分析、考察	6 ページ
III. 今後の方針	6 ページ

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査の対象とする児童生徒（東大阪市）

小学校及び義務教育学校前期課程5年生（対象児童 3,299人）

中学校2年生、及び義務教育学校後期課程8年生（対象生徒 3,235人）

### 3. 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ア 実技調査

小学校〔8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

中学校〔8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

##### イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する内容

#### (2) 学校に対する調査（質問紙調査）

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動に関する内容

### 4. 調査実施期間

令和7年4月～令和7年7月

## [補足] 「II. 調査結果」について

※ 全て、公立学校における数値

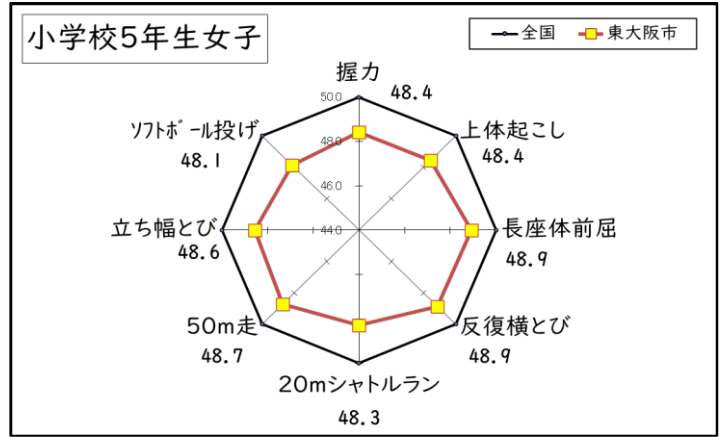
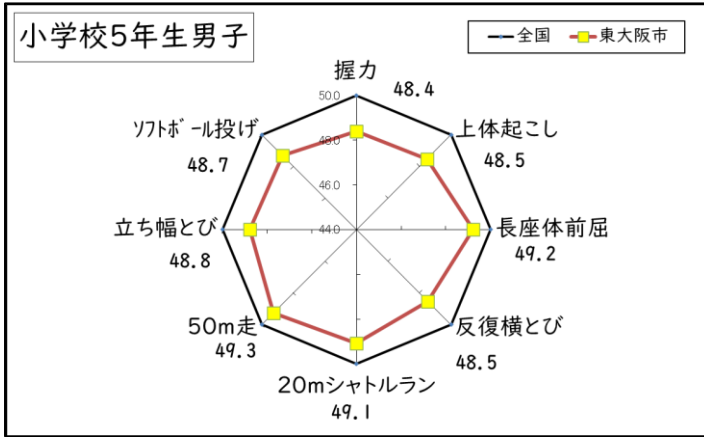
※ 大阪府の数値は指定都市を除く

## Ⅱ. 調査結果

# 実技調査

### 小学校5年生

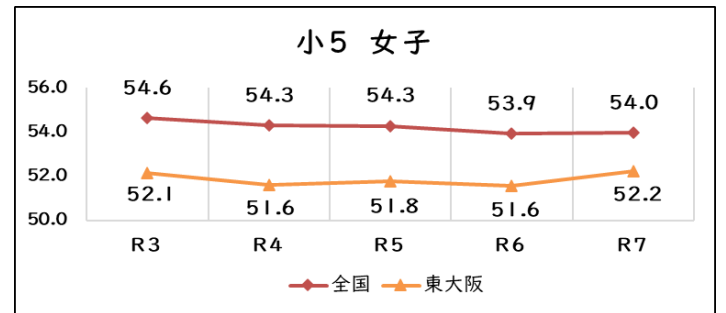
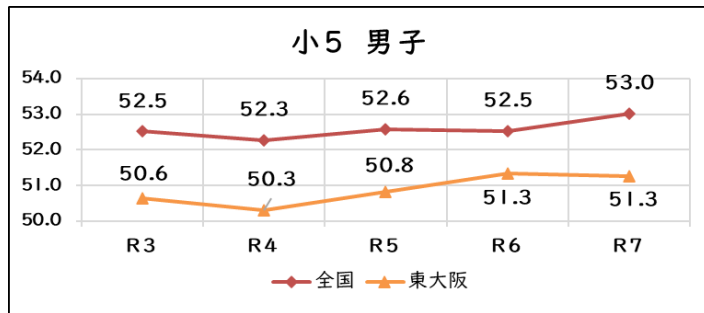
\* 令和7年度 [ Tスコア(偏差値) ] … 全国平均を50としたときの東大阪の値



小学校5年生男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
R7	48.4	48.5	49.2	48.5	49.1	49.3	48.8	48.7
R6	49.1	49.0	48.3	49.4	49.0	49.3	49.5	49.5

小学校5年生女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
R7	48.4	48.4	48.9	48.9	48.3	48.7	48.6	48.1
R6	48.9	48.4	48.8	48.5	47.6	47.7	48.6	47.3

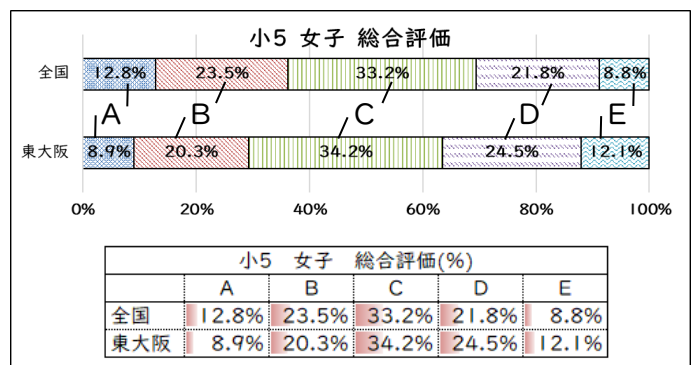
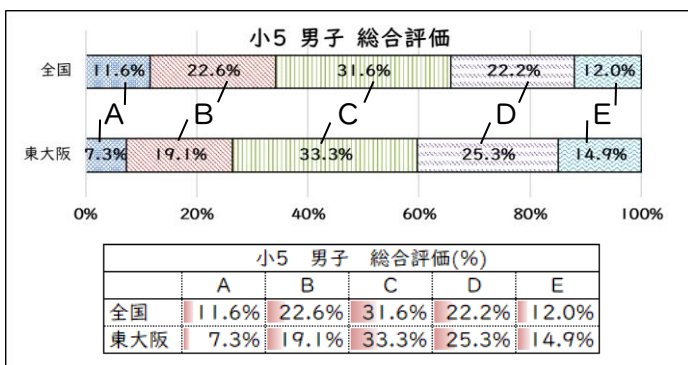
\* 得点合計[平均値]の推移



\* 令和7年度 [ 平均値 ]

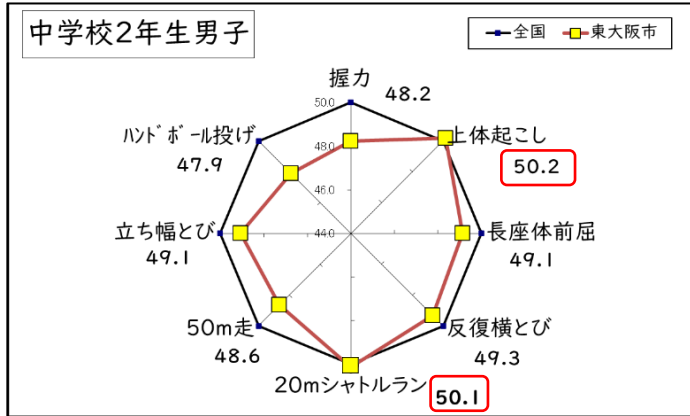
	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	得点合計(点)
小学校5年(男子) 全国	139.53	35.01	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
東大阪	139.40	35.26	15.34	18.50	33.19	39.64	45.98	9.54	147.88	19.98	51.27
小学校5年(女子) 全国	140.81	34.70	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
東大阪	140.55	34.75	14.99	17.48	37.17	37.84	34.11	9.90	138.89	12.23	52.22

\* 令和7年度 [ 総合評価 ] 体力テスト合計得点の高い方からABCDEの5段階で評定

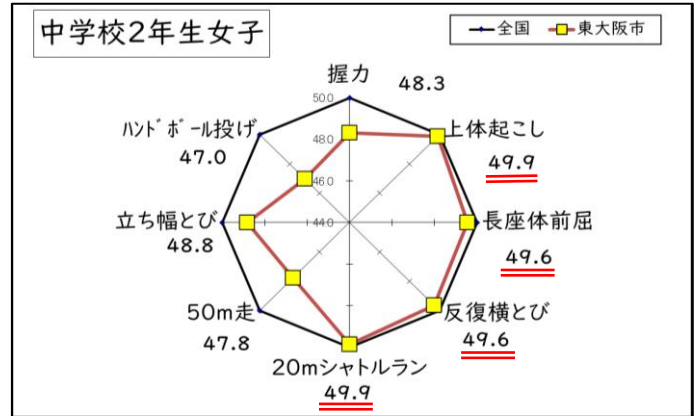


## 中学校2年生

\* 令和7年度 [ Tスコア(偏差値) ] … 全国平均を50としたときの東大阪の値

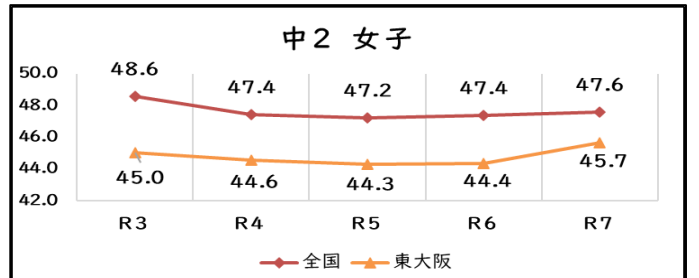
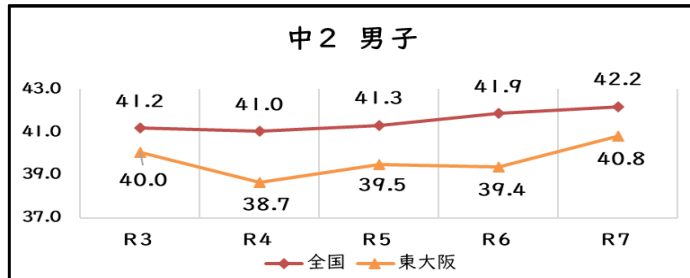


中学校2年生男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
R7	48.2	50.2	49.1	49.3	50.1	48.6	49.1	47.9
R6	48.5	49.1	48.5	49.9	49.1	48.2	48.2	47.6



中学校2年生女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
R7	48.3	49.9	49.6	49.6	49.9	47.8	48.8	47.0
R6	48.0	48.6	48.7	49.9	49.6	47.3	48.8	46.4

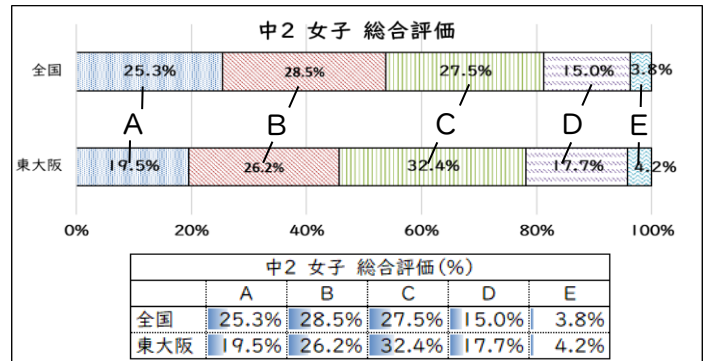
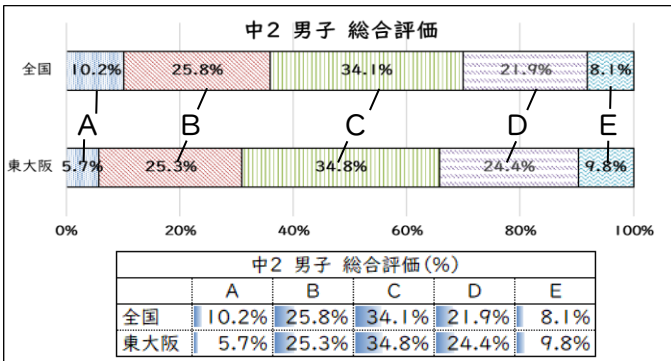
\* 得点合計[平均値]の推移



\* 令和7年度 [ 平均値 ]

		身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	得点合計(点)
中学校2年(男子)	全国	161.31	50.11	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
	東大阪市	161.25	50.34	27.65	26.20	44.15	51.00	79.17	8.12	194.45	19.41	40.80
中学校2年(女子)	全国	155.06	46.88	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58
	東大阪市	155.04	46.53	22.35	21.62	46.50	45.45	50.35	9.18	163.08	11.13	45.66

\* 令和7年度 [ 総合評価 ] 体力テスト合計得点の高い方からABCDEの5段階で評定



## 実技調査【分析・考察】

【分析】 全体的に全国よりも低い傾向がみられるが、小学男子で2項目、小学女子で5項目、中学男子で6項目、中学女子で6項目が昨年度と比べ数値が向上し、全国平均に近づいている。また、中学男子では「上体起こし(筋持久力)」「20mシャトルラン(全身持久力)」において全国平均を上回った。中学女子では複数の種目において全国平均とほぼ変わらない数値である。また、得点合計については、小中学校男女ともに、近年で一番高い数値となっている。

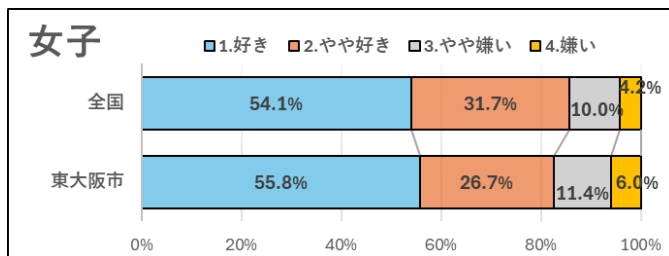
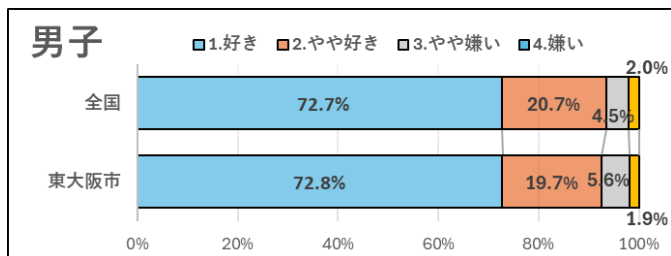
【考察】 体力向上に向けた各校の取組みが結果に反映されたと考えられるが、一方で昨年度と比べ、数値が減少した項目もあるため、バランスよく体力向上につなげていけるように、引き続き、効果的な体力向上の取組みを進めることが重要である。

# 質問紙調査

## 小学校5年生

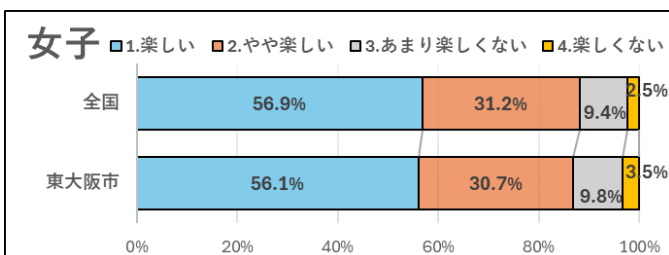
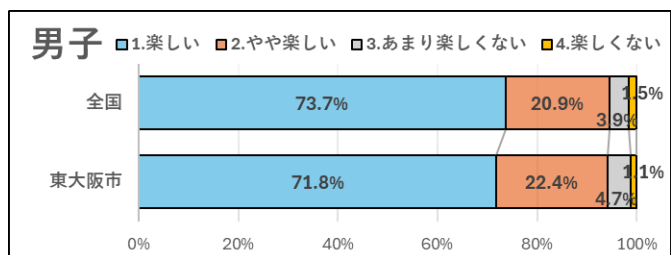
### 【生活に関すること】

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

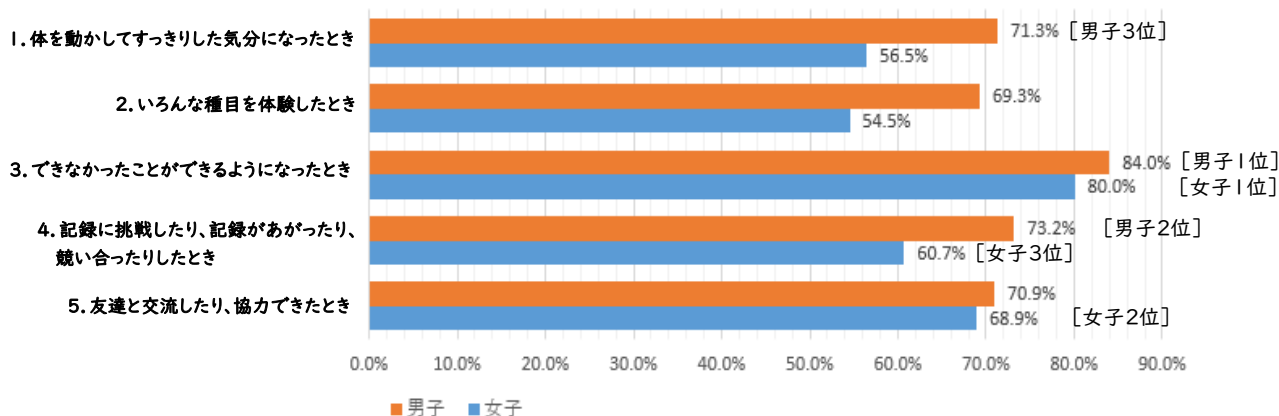


### 【体育の授業に関すること】

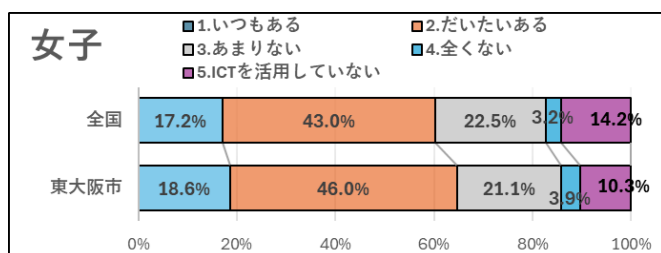
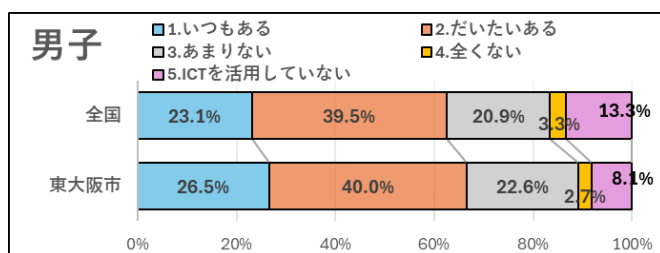
○ 体育の授業は楽しいですか。



○ どんな時に体育の授業が楽しいと感じますか

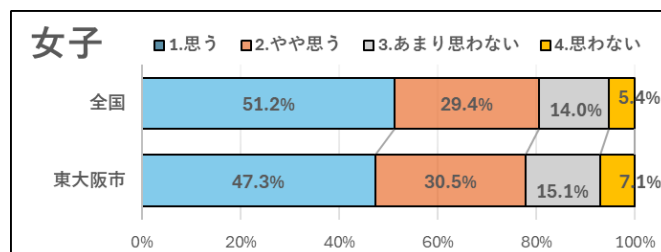
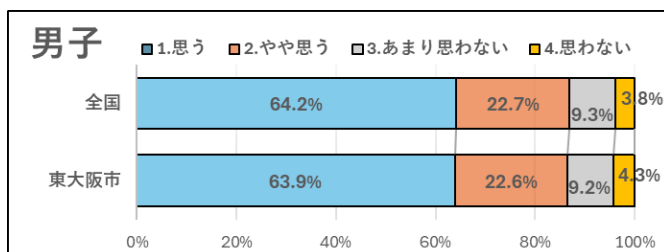


○ 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかたり」することがありますか。



### 【中学校進学後のこと】

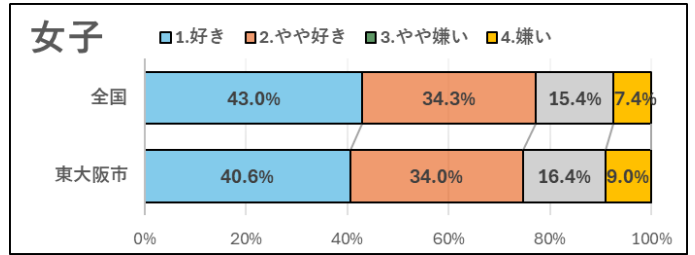
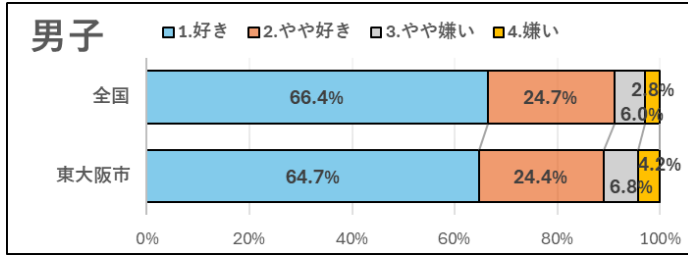
○ 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



## 中学校 2 年生

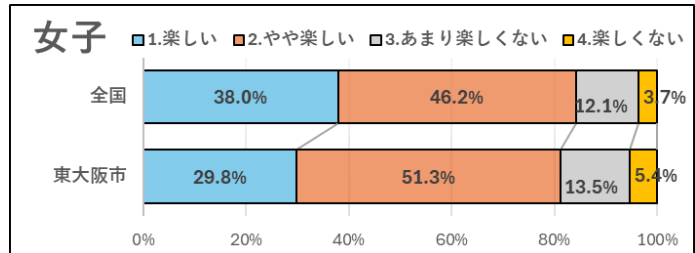
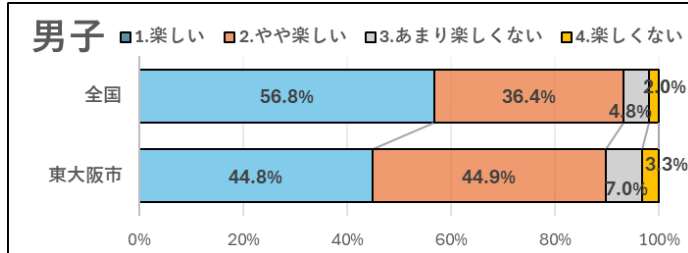
### 【生活に関すること】

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

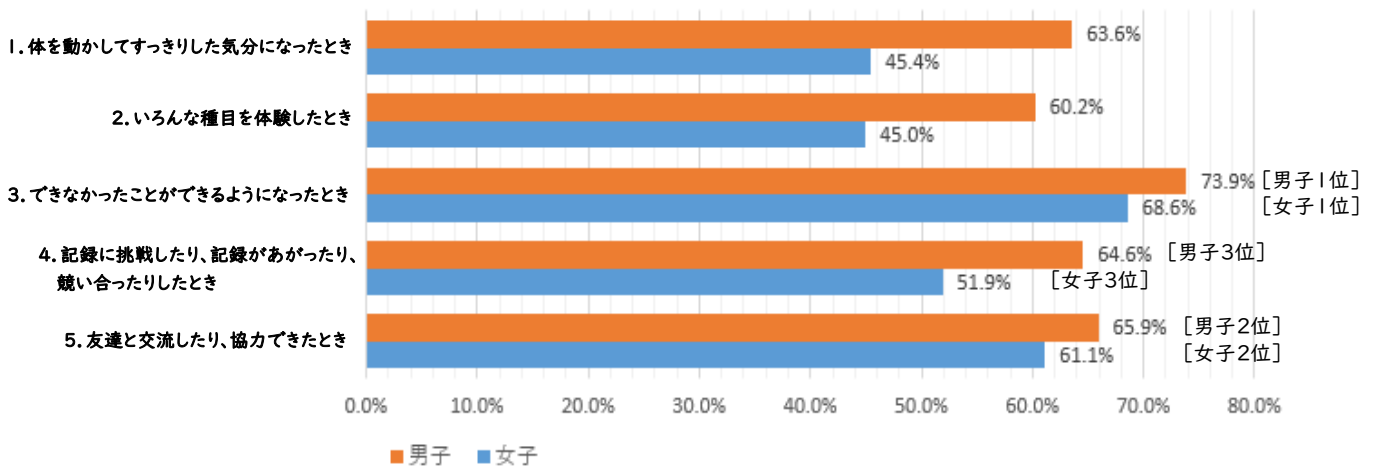


### 【保健体育の授業に関すること】

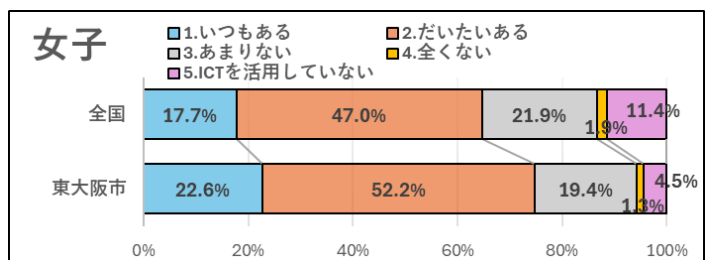
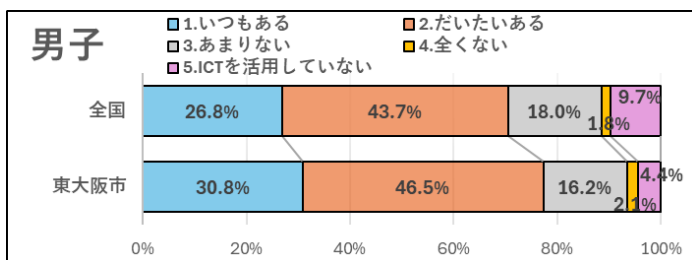
○ 保健体育の授業は楽しいですか。



○ どんな時に保健体育の授業が楽しいと感じますか

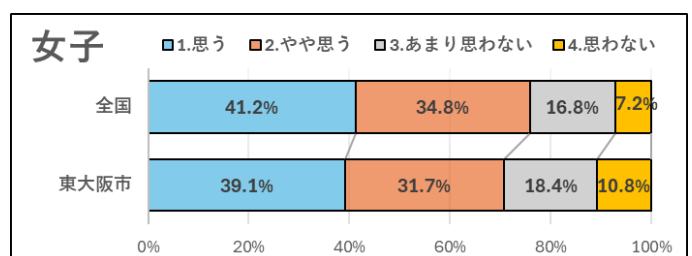
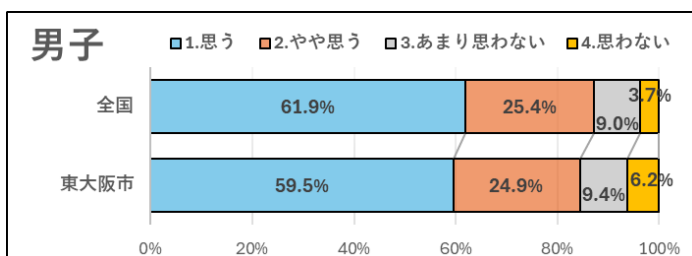


○ 保健体育の授業で、タブレットなどの ICT を使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



### 【卒業後のこと】

○ 中学校を卒業した後も、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



## 質問紙調査【分析・考察】

### <分析>

- 「運動やスポーツをすることは好き」と肯定的(好き・やや好き)に回答した割合、及び、「体育・保健体育の授業は楽しい」と肯定的(楽しい・やや楽しい)に回答した割合は、小中学校男女ともに全国平均を下回っている。
- 小中学校男女ともに、「運動・スポーツ」に対する肯定的回答よりも、「体育・保健体育」に対する肯定的回答の割合が高い。  
※[小男:運動・スポーツ 92.5% < 体育 94.2%、小女:運動・スポーツ 82.5% < 体育 86.8%]  
[中男:運動・スポーツ 89.1% < 保健体育 89.7%、中女:運動・スポーツ 74.6% < 保健体育 81.1%]
- 「どんなときに体育・保健体育の授業が楽しいと感じるか」では、小中学校男女とも「できなかったことができるようになった」ときが一番高い数値になっている。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかたり』することがありますか」の質問では、肯定的(いつもある・だいたいある)に回答した割合は、小中学校男女ともに全国平均を上回っている。
- 「中学校進学後(卒業後も)、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」では、小中学校男女ともに全国平均よりも下回っているものの、中学校では男女ともに昨年度よりも数値が上昇している。  
※[強肯定回答] 中学男子 R6年度 52.6%→R7年度 59.5%、 中学女子 R6年度 34.6%→R7年度 39.1%

### <考察>

小中学校男女ともに、「運動・スポーツ」、及び、「体育・保健体育」に対する肯定的回答率が全国平均よりも下回ることから、生涯にわたって心身の健康を保持増進できるよう、児童・生徒の運動意欲の向上につながる取組みがさらに求められる。そこで、児童・生徒の個に応じた運動課題を段階的に設定するとともに、自己に適した運動課題に主体的に取り組み、それを達成することができる授業を行うことで「できなかったことができるようになった」となり、運動やスポーツに対する意欲が高まると考える。また、ICT活用による知識技能の習得が進んでいる現状を活かし、活動の記録や分析といったプロセスを通じて自らの課題に主体的に取り組ませることで課題達成を促し、運動やスポーツに対する好意的な意識形成につなげたい。

卒業後も運動継続意識を高めるため、運動することの楽しさや喜びを実感させる機会を増やすことが重要である。楽しさや喜びを実感する機会が多くなれば、運動意欲も高まり、体力の向上につながると考える。

## Ⅲ. 今後の方針

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から見られる本市の児童・生徒の体力・運動習慣等の課題について、その改善を図るため、以下の取組みを進めていく。

### ○本市の取組み

- ▶結果の分析を行い、本市の課題を明らかにし、今後の方策について検討するとともに学校に発信する。
- ▶学校の工夫した取組みや国、府の好事例を収集し情報提供を行う。

### ○学校における取組み

- ▶本調査の「記録シート」等を通して児童・生徒自らが自分の運動能力を知り、今後の運動の目標を持ち、実践できるように努める。
- ▶体育・保健体育の授業において、一人ひとりが達成感を得られるよう、きめ細かい指導を行うとともに、運動量の確保に努める。
- ▶府・市の体力向上に関する事業等を有効活用し、継続的に児童・生徒が運動に親しむ機会をもてるように工夫する。
- ▶各校において、一人ひとりの児童・生徒の体力・運動能力、運動習慣等を把握し、課題の改善に向けた取組みを推進する。

### ○幼児期からの取組み

- ▶幼児期から遊びを通して運動に親しみ、体を動かす心地よさや楽しさを体験し、健康な体づくりや運動に取り組む意識を育てる。
- ▶幼稚園・こども園、小学校、中学校、義務教育学校が連携し、発達段階に応じた指導・取組みの充実を図る。

### ○家庭・地域との連携

- ▶園児・児童・生徒の運動習慣・生活習慣の見直しと改善を図るため、学校園と家庭、地域が連携し、地域のスポーツ行事等への参加の啓発等、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力の基礎を育てる取組みを進めていく。

### ○各研究会との連携

- ▶東大阪市小学校体育研究会、東大阪市中学校保健体育研究会と連携し、授業研究や体育的行事についての取組みの充実を図る。